

## SDG s 達成に向けた宣言書

令和8年4月09日

所在地 千葉県印西市木下1521-64

名称 フルーツリパブリック株式会社

代表者 代表取締役 山崎 康弘

当社は、SDG s の内容を理解し、SDG s 達成に貢献することを宣言します。

### 1 関係するSDG s 目標（ゴール）（※該当するゴールに○を入れてください）

①貧困 1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	②飢餓 2 飢餓をゼロに	<input type="checkbox"/>	③保健 3 すべての人に健康と福祉を		④教育 4 質の高い教育をみんなに	
⑤ジェンダー 5 ジェンダー平等を推進しよう		⑥水・衛生 6 安全な水とトイレを世界中に		⑦エネルギー 7 安全で持続可能なエネルギーを世界中に		⑧成長・雇用 8 働きがいも経済成長も	<input type="checkbox"/>
⑨イノベーション 9 産業と雇用革新の加速を促そう	<input type="checkbox"/>	⑩不平等 10 人や国の不平等をなくそう	<input type="checkbox"/>	⑪都市 11 住み続けられるまちづくりを		⑫消費・生産 12 つくる責任 つかう責任	
⑬気候変動 13 気候変動に具体的な対策を	<input type="checkbox"/>	⑭海洋資源 14 海の豊かさを守ろう	<input type="checkbox"/>	⑮陸上資源 15 陸の豊かさも守ろう	<input type="checkbox"/>	⑯平和 16 平和と公正をすべての人に	
⑰実施手段 17 パートナシップで目標を達成しよう							

### 2 SDG s 達成に向けた経営方針等

当社は、輸入農産物卸売業を通じ、2022年から2025年にかけての取り組みの実績を踏まえ、以下の活動によりSDG s のさらなる達成に貢献します。

【環境】2022年より木材パレットから廃材（ヤシ殻）由来パレットへの切り替えおよびプラスチック性バンドルの自然由来素材への代替を推進し、2025年までに輸

入貨物の梱包資材を廃材・自然由来素材100%へ切り替えを完了しました。引き続き100%水準を維持・定着させ、取引先へのエコ梱包の普及啓発にも取り組みます。

**【社会】** 2021年にペルー産フルーツ（マンゴ・アボカド）の仕入比率30%であったところ、積極的な買付活動と産地との継続的パートナーシップにより、2025年に目標の60%を達成しました。今後2029年までに取扱比率75%以上を目指すとともに、ブドウ等の新品目にも拡大し、国際フェアトレード基準の完全達成を通じて途上国生産者の自立と安定収入の確保に貢献します。

**【経済】** 2022年から推進してきたDX（デジタルトランスフォーメーション）により、請求書・通関書類・配送指示等全業務の電子データ化100%を達成し、郵送・FAX通信を廃止しました。2026年以降はAI活用による自動化・データ分析を深化させ、業務効率と環境負荷低減をさらに追求します。